

## 第3章 施策の展開

---

- 基本施策1 多様な文化芸術活動の推進
- 基本施策2 文化芸術の担い手の育成
- 基本施策3 伝統文化の保護及び継承
- 基本施策4 文化芸術交流の促進
- 基本施策5 文化芸術を創造する環境づくり

## 基本施策 1 多様な文化芸術活動の推進

### 【現状と今後の方向性】

文化芸術活動は、人に心の安らぎを与え、生活に潤いをもたらします。行政は市民による自主的で創造的な文化芸術活動を支援するため、その環境整備をすることが必要になります。

また、市民のニーズに応じる優れた文化の公演、展覧会等を鑑賞する機会をつくることは、市民の文化芸術への関心を高め、多様な文化芸術活動を促進するためには必要不可欠です。

事業の実施にあたっては、関係機関との連携を密にし、特に次代を担う子供に対する鑑賞の機会をつくることや場の確保に努め、すべての市民が文化芸術に触れ、これに親しむ心を育てる環境を整備します。

基本施策	具体的施策
1 多様な文化芸術活動の促進	1 子供に対する文化芸術鑑賞機会の拡充 2 文化芸術の公演や展示事業の多様化 3 市民主体の公演、展示会への有形・無形の行政の支援 4 市民の文化芸術活動と発表の機会の充実

※本頁以降の「■実施事業」における「区分」の内容は以下の通りです

**新規**：第1次ビジョン策定後に開始した事業

**充実**：現状を充実させる事業

**拡大**：事業規模を拡大し、推進する事業

### 具体的施策 1 子供に対する文化芸術鑑賞機会の拡充

#### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
移動音楽鑑賞教室	小学校及び中学校で、優れた音楽を直接鑑賞する機会を提供し、芸術にふれる喜びを体験させ、芸術文化への参加機運を醸成します。	充実	文化振興課
学校文化芸術体験事業	小学校及び中学校で、演劇等の鑑賞の機会を提供します。	充実	文化振興課
劇団四季こころの劇場小学校招待公演	劇団四季こころの劇場公演を、市内全小学6年生に提供します。	新規	文化振興課

### 第3章 施策の展開

#### ■現状値・目標値

事業名	現状値(平成27年度)	中間値(平成31年度)	目標値(平成33年度)
学校文化芸術体験事業	3校	8校	10校

## 具体的施策2 文化芸術の公演や展示事業の多様化

#### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
小山市文化協会加入団体活動事業	小山市文化協会に加入している団体による公演や展示事業を開催します。	拡大	文化振興課
文化センター自主事業	文化センターの自主事業を開催します。	拡大	教育総務課
企画展開催事業	収蔵資料の的確な管理と調査研究の充実を図り、常設展では展示しきれない収蔵資料や、学芸員の研究成果を発表します。	拡大	博物館
小山市ゆかりの美術やその他多様な美術の展覧会の開催	市民が郷土文化への理解を深めるとともに、芸術への関心を高めるために、市民のニーズを的確に把握し、優れた芸術を鑑賞する機会の充実を図ります。	新規	車屋美術館

#### ■現状値・目標値

事業名	現状値(平成27年度)	中間値(平成31年度)	目標値(平成33年度)
小山市文化協会加入団体活動事業	19回	23回	25回
小山市ゆかりの美術やその他多様な美術の展覧会の開催	入館者数 12,500人	入館者数 13,000人	入館者数 14,000人

## 具体的施策3 市民主体の公演、展示会への有形・無形の行政の支援

#### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
文化芸術振興活動事業	自主的で創造的な「小山らしい」特色ある文化芸術振興のための幅広い人材を育成する取組として、趣旨に沿う市民の文化芸術活動に対し、その経費の一部を助成します。	充実	文化振興課

## ■実施事業（続き）

事業名	事業内容	区分	担当課
芸術文化コンクール 大会出場補助金	芸術文化の振興を図るとともに、優秀な芸術文化団体等の育成を推進するため、芸術文化コンクール大会等補助金を交付します。	充実	文化振興課

## ■現状値・目標値

事業名	現状値(平成 27 年度)	中間値(平成 31 年度)	目標値(平成 33 年度)
芸術文化コンクール 大会出場補助金	1 件	3 件	5 件

**具体的施策 4 市民の文化芸術活動と発表の機会の充実**

## ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
市民文化祭	市民一人一芸術をめざし、19 部門の市内文化団体の参加・協力を得て市民文化祭を開催し、地域文化の振興を図ります。	充実	文化振興課
文化振興大会	市民文化祭の開幕祭として式典及び記念公演を開催します。	充実	文化振興課
小山市文化協会加入 団体活動事業(再掲)	小山市文化協会に加入している団体による公演や展示事業を開催します。	拡大	文化振興課
ハンドベルフェスタ in OYAMA	小山市のブランドであるハンドベルの素晴らしい音色の響くまちづくりを推進するため、市制 50 周年記念事業として開催した本事業を継続して開催し、ハンドベル音楽の普及並びに地域における音楽文化活動の活性化を図ります。	拡大	文化振興課
市民能「小山安犬」の 再演	市制 50 周年記念事業として開催した本事業を継続して開催し、先人から受け継がれた貴重な歴史の継承及び活用を図ります。	充実	文化振興課
市民オペラ「小山物語」の再演	市制 50 周年記念事業として創作された市民オペラを継続して開催し、市民全体による新たな文化芸術の創造を推進します。	充実	文化振興課
友の会作品展	地域文化の発展に寄与することを目的として活動する会員の成果を発表します。	充実	博物館

### 第3章 施策の展開

#### ■実施事業（続き）

事業名	事業内容	区分	担当課
展覧会の開催	企画展や公募型展覧会(平成 29 年 1 月開催 : 10×15 の世界コンテスト展)などの多様な事業を継続開催し、市民の文化芸術活動と発表の機会を充実させるとともに、地域文化の活性化を図ります。	新規	車屋美術館

#### ■現状値・目標値

事業名	現状値(平成 27 年度)	中間値(平成 31 年度)	目標値(平成 33 年度)
市民文化祭	入場者 19,697 人	入場者 20,000 人	入場者 20,000 人
小山市文化協会加入 団体活動事業(再掲)	19 回	23 回	25 回
ハンドベルフェスタ in OYAMA	来場者数 1,050 人	来場者数 1,100 人	来場者数 1,100 人

#### ◇伝統文化ふれあい教室◇



## 基本施策2 文化芸術の担い手の育成

### 【現状と今後の方向性】

市民の個々の文化芸術活動を活性化するためには、文化芸術イベントの企画を総合的にマネージメントできる人材や運営等に側面からサポートする人材・団体がが必要です。

こうした人材・団体の活動によって、文化芸術活動の広がり新たな文化芸術の創造を実現するため、学校教育や生涯学習、民間企業、関係団体等との連携を強化し、人材等の発掘と育成への環境整備に努めます。

また、本市の文化芸術の振興に大きな貢献をされた先人の功績を顕彰するとともに、本市の明日を担う若手の芸術家・文化人の支援を充実します。

基本施策	具体的施策
2 文化芸術の担い手の育成	1 顕彰制度の確立 2 人材育成事業の拡充 3 文化芸術団体の運営・活動に対する支援の推進 4 学校教育・生涯学習との連携の推進

### 具体的施策1 顕彰制度の確立

#### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
小山市文化協会功労賞等の表彰	文化協会加入団体から推薦のあった功労賞などの候補者について審議を行い表彰します。	充実	文化振興課

### 具体的施策2 人材育成事業の拡充

#### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
小山市文化協会伝統文化ふれあい教室	学校教育の一環として、中学生に対し日本古来の伝統芸能に触れる機会を、講師と生徒による参加体験型の鑑賞事業として提供し、情操の涵養と芸術活動への参加機運を醸成します。	充実	文化振興課
小中学校ハンドベル講座	小中学校へ講師を派遣しハンドベルの指導を行います。(旭小学校・美田中学校)	充実	文化振興課
ハンドベルメンテナンス講座	ハンドベルチームを対象とした、ハンドベルの構造の解説及び磨き方の実習を行います。	充実	文化振興課



### 第3章 施策の展開

#### ■実施事業(続き)

事業名	事業内容	区分	担当課
文化芸術振興活動事業(再掲)	自主的で創造的な「小山らしい」特色ある文化芸術振興のための幅広い人材を育成する取組として、趣旨に沿う市民の文化芸術活動に対し、その経費の一部を助成します。	充実	文化振興課
博物館ボランティアの育成	博物館の各種事業の補助や、自主事業の実施による地域文化の啓発・普及を行います。	充実	博物館

#### ■現状値・目標値

事業名	現状値(平成27年度)	中間値(平成31年度)	目標値(平成33年度)
小山市文化協会伝統文化ふれあい教室	3校	4校	4校
小中学校ハンドベル講座	参加者数 52人	参加者数 60人	参加者数 70人
ハンドベルメンテナンス講座	参加者数 18人	参加者数 20人	参加者数 25人
博物館ボランティアの育成	登録者数 22人	登録者数 22人	登録者数 22人

### 具体的施策3 文化芸術団体の運営・活動に対する支援の推進

#### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
小山市文化協会後援事業	小山市文化協会で後援を行うことにより、市内の文化活動の活性化に寄与します。	充実	文化振興課
芸術文化コンクール大会出場補助金(再掲)	芸術文化の振興を図るとともに、優秀な芸術文化団体等の育成を推進するため、芸術文化コンクール大会等補助金を交付します。	充実	文化振興課
文化芸術振興活動事業(再掲)	自主的で創造的な「小山らしい」特色ある文化芸術振興のための幅広い人材を育成する取組として、趣旨に沿う市民の文化芸術活動に対し、その経費の一部を助成します。	充実	文化振興課

#### ■現状値・目標値

事業名	現状値(平成27年度)	中間値(平成31年度)	目標値(平成33年度)
小山市文化協会後援事業	14回	20回	23回

## ■現状値・目標値（続き）

事業名	現状値(平成27年度)	中間値(平成31年度)	目標値(平成33年度)
芸術文化コンクール 大会出場補助金(再掲)	1件	3件	5件

**具体的施策4 学校教育・生涯学習との連携の推進**

## ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
移動音楽鑑賞教室 (再掲)	小学校及び中学校で、優れた音楽を直接鑑賞する機会を提供し、芸術にふれる喜びを体験させ、芸術文化への参加機運を醸成します。	充実	文化振興課
学校文化芸術体験事業(再掲)	小学校及び中学校で、演劇等の鑑賞の機会を提供します。	充実	文化振興課
劇団四季こころの劇場小学校招待公演 (再掲)	劇団四季こころの劇場公演を、市内全小学6年生に提供します。	新規	文化振興課
小山市文化協会伝統文化ふれあい教室 (再掲)	学校教育の一環として、中学生に対し日本古来の伝統芸能に触れる機会を、講師と生徒による参加体験型の鑑賞事業として提供し、情操の涵養と芸術活動への参加機運を醸成します。	充実	文化振興課
市民文化祭(再掲)	市民一人一芸術をめざし、19部門の市内文化団体の参加・協力を得て市民文化祭を開催し、地域文化の振興を図ります。	充実	文化振興課
小中学校ハンドベル講座(再掲)	小中学校へ講師を派遣しハンドベルの指導を行います。(旭小学校・美田中学校)	充実	文化振興課

## ■現状値・目標値

事業名	現状値(平成27年度)	中間値(平成31年度)	目標値(平成33年度)
学校文化芸術体験事業(再掲)	3校	8校	10校
小山市文化協会伝統文化ふれあい教室 (再掲)	3校	4校	4校
市民文化祭(再掲)	入場者 19,697人	入場者 20,000人	入場者 20,000人
小中学校ハンドベル講座(再掲)	参加者数 52人	参加者数 60人	参加者数 70人



## 基本施策3 伝統文化の保護及び継承

### 【現状と今後の方向性】

文化を形成してきた礎は、長くこの地域に蓄積されてきた文化遺産にあるともいえます。本市は、国・県・市指定の有形・無形の文化財を数多く有する他、未指定であっても、生活に根ざした身近な文化財や伝統芸能等が、各地域で数多く継承されています。そして、これらの文化遺産は新たな文化や都市アイデンティティを育む土壌となります。

そのため、文化遺産を保護し、より発展させて次世代に継承するとともに、市民の文化遺産に対する関心を高め、活用機会の充実を図ります。

基本施策	具体的施策
3 伝統文化の保護及び継承	1 文化遺産に関する専門的調査の推進 2 歴史の掘り起こし・記録・公開 3 文化財の保存と活用の推進 4 国登録文化財への推進 5 歴史や伝統文化の学習機会の充実

### 具体的施策1 文化遺産に関する専門的調査の推進

#### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
歴史的資産を活用した地域活性化事業（南小林・上泉）	小山工業高等専門学校（建築学科）、國學院大學栃木短期大学（日本文化学科）と連携し、対象地域の歴史的資産について悉皆調査を実施する。（H28～32 実施予定）	新規	文化振興課

#### ■現状値・目標値

事業名	現状値(平成27年度)	中間値(平成31年度)	目標値(平成33年度)
歴史的資産を活用した地域活性化事業（南小林・上泉）	調査件数0件	調査件数3件	事業完了予定

## 具体的施策2 歴史の掘り起こし・記録・公開

### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
ふるさとおやま歴史発見事業	市内の史跡や文化財について、パンフレットやホームページ等により普及を図り、多彩な見学会を実施します。小山の優れた歴史を内外に発信することで、郷土愛の醸成と小山市に対する興味関心を喚起します。	充実	文化振興課

## 具体的施策3 文化財の保存と活用の推進

### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
国史跡寺野東遺跡の活用推進	おやま縄文まつりの広場として整備された同遺跡について、縄文まつり等のPRイベントを開催し、団体等の積極的受入を図ります。	新規	文化振興課
小山御殿広場の活用推進	祇園城（城山公園）の整備を推進するとともに、国史跡「祇園城跡」の一部である同広場について、開運まつり等のPRイベント開催や、庁内外への貸出によりその普及啓発を図ります。	新規	文化振興課
国史跡琵琶塚・摩利支天塚古墳整備事業	国指定史跡琵琶塚・摩利支天塚古墳の両古墳及びその周辺の整備を推進します。	新規	生涯学習課
文化芸術振興活動事業	文化財の指定及び指定文化財の維持・管理を図ります。	充実	文化振興課 生涯学習課
埋蔵文化財調査事業	埋蔵文化財発掘調査の成果の公開及び史跡の公有化を図ります。	充実	生涯学習課

### ■現状値・目標値

事業名	現状値(平成27年度)	中間値(平成31年度)	目標値(平成33年度)
国史跡寺野東遺跡の活用推進	入館者数 5,000 人	入館者数 6,000 人	入館者数 7,000 人
小山御殿広場の活用推進	貸出件数 6 件(9月～)	貸出件数 20 件	貸出件数 40 件
埋蔵文化財調査事業	3 か所	1 か所	1 か所

## 具体的施策4 国登録文化財への推進

### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
市内建造物調査事業	市内の歴史的建造物について調査し、その中でも歴史的価値の高いものについて国の有形文化財建造物への登録を図ります。	充実	文化振興課

### ■現状値・目標値

事業名	現状値(平成 27 年度)	中間値(平成 31 年度)	目標値(平成 33 年度)
市内建造物調査事業	登録件数 7 件	登録件数 10 件	登録件数 12 件

## 具体的施策5 歴史や伝統文化の学習機会の充実

### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
小山市文化協会伝統文化ふれあい教室(再掲)	学校教育の一環として、中学生に対し日本古来の伝統芸能に触れる機会を、講師と生徒による参加体験型の鑑賞事業として提供し、情操の涵養と芸術活動への参加機運を醸成します。	充実	文化振興課
こども小山評定	将来を担う子供達に歴史のまちづくりを考える場を提供し、ワークショップ形式で子供の目線での歴史のまちづくりのあり方を検討し、提案として取りまとめます。	新規	文化振興課
「中世小山一族」関連講座の開催	市民に郷土の歴史や文化財に親しむ機会を提供するため、歴史的資産を活用した中世小山一族への理解を深める連続講座を開催します。	新規	文化振興課

### ■現状値・目標値

事業名	現状値(平成 27 年度)	中間値(平成 31 年度)	目標値(平成 33 年度)
小山市文化協会伝統文化ふれあい教室(再掲)	3 校	4 校	4 校

## 基本施策4 文化芸術交流の促進

### 【現状と今後の方向性】

文化は人と人との交流のなかで生まれ、発展し、そこからまた新しい文化が創出されます。文化芸術を取り巻く様々な分野の人や団体の相互交流を促進することは、本市の文化芸術を向上させるうえで、重要な意味を持っています。

そのため、様々な交流を通じて小山らしい特色ある文化の発信、展開を図ります。

基本施策	具体的施策
4 文化芸術交流の促進	1 世代間交流による伝統文化の継承支援 2 情報・人材・施設に関する情報提供 3 地域間交流及び国際交流等の促進

### 具体的施策1 世代間交流による伝統文化の継承支援

#### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
小山市文化協会伝統文化ふれあい教室(再掲)	学校教育の一環として、中学生に対し日本古来の伝統芸能に触れる機会を、講師と生徒による参加体験型の鑑賞事業として提供し、情操の涵養と芸術活動への参加機運を醸成します。	充実	文化振興課

#### ■現状値・目標値

事業名	現状値(平成27年度)	中間値(平成31年度)	目標値(平成33年度)
小山市文化協会伝統文化ふれあい教室(再掲)	3校	4校	4校

### 具体的施策2 情報・人材・施設に関する情報提供

#### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
文化芸術に関する講座等の情報提供	おやま・まちづくり出前講座、市民開放講座等で文化芸術に係る講座等の情報を提供します。	充実	生涯学習課

### 第3章 施策の展開

#### ■実施事業（続き）

事業名	事業内容	区分	担当課
講師指導者情報の発信	文化芸術に関する講師及び指導者の登録や情報提供を行います。	充実	生涯学習課
小山市史その他資料の頒布	本市の歴史や文化を広く普及するため、「小山市史」・「小山の伝説」等の関連書籍の頒布を行います。	充実	文化振興課

### 具体的施策3 地域間交流及び国際交流等の促進

#### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
友好都市の住民に対する文化センター使用料の減免	友好都市に住所を有する者が使用する場合は、小山市に住所を有する者と同額とする。	新規	教育総務課

#### ◇小山安犬◇



## 基本施策5 文化芸術を創造する環境づくり

### 【現状と今後の方向性】

市全体の、あるいは各地域の特色を醸し出す歴史や景観を生かしたまちづくりが求められています。日常生活のなかに文化的な雰囲気を感じることができるよう、すべての施策の企画・立案に文化的な視点を積極的に取り入れ、歴史的町並みや天然記念物を含めた文化財の保護やその周辺の整備に取り組んでいく必要があります。

また、本場結城紬や渡良瀬遊水地などの地域の誇りである文化資源を保存・活用・継承し、本市の特色を表す事ができる貴重な地域資源として活用したまちづくりを推進します。

そして、市民が文化芸術活動を行うための、鑑賞の場や日頃の活動の成果を発表する場が求められている事から、文化センター、図書館、博物館などの文化施設の充実を図るとともに、学校・公民館など既存施設の更なる有効活用を目指して、様々な活動の場の提供に向けた取組を進めます。

基本施策	具体的施策
5 文化芸術を創造する環境づくり	1 歴史的景観の再発見と保護・活用に関する施策 2 文化施設の活用 3 文化芸術活動のための公共施設の活用

### 具体的施策1 歴史的景観の再発見と保護・活用に関する施策

#### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
歴史的資産を活用した地域活性化事業（南小林・上泉）（再掲）	高等教育機関と連携して歴史的資産の調査を行うと共に、その価値を普及するための啓発資料を作成し、あわせて地域と連携して歴史的資産の活用・歴史のまちづくりの推進を図ります。（H28～32 実施予定）	新規	文化振興課
本場結城紬の活用	本場結城紬を活用した着心地体験や結城市との連携事業等を推進し、地域振興・活性化を図ります。	新規	工業振興課
渡良瀬遊水地の賢明な活用の推進	水と緑、自然とふれあえるまちの形成を図るため、渡良瀬遊水地の賢明な活用等の積極的な取組を推進します。	新規	渡良瀬遊水地ラムサール推進課



### 第3章 施策の展開

#### ■現状値・目標値

事業名	現状値(平成27年度)	中間値(平成31年度)	目標値(平成33年度)
本場結城紬の活用	本場結城紬着心地 体験者数 220 人	本場結城紬着心地 体験者数 360 人	本場結城紬着心地 体験者数 500 人
	着物着用イベント 参加者数 500 人	着物着用イベント 参加者数 750 人	着物着用イベント 参加者数 1,000 人
渡良瀬遊水地の賢明な活用の推進	渡良瀬遊水地第2 調節池の利活用者数 6,398 人	渡良瀬遊水地第2 調節池の利活用者数 8,726 人	渡良瀬遊水地第2 調節池の利活用者数 9,890 人

### 具体的施策2 文化施設の活用

#### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
文化センターの活用	安心・安全かつ快適な施設環境の提供や利用者のニーズを反映した施設運営を目指して、必要に応じて改修、整備を進めます。	充実	教育総務課
図書館の活用	読書を通して文化振興を図るために、市民の学習機会を増加させるとともに、文化芸術活動の機会や場を充実します。	充実	図書館
博物館の活用	小山市の特色ある文化資源をこれまで以上に活用するとともに、新たな魅力を発見・発信するため、常設展の充実を図るとともに、様々な企画展を開催します。	充実	博物館
美術館の活用	地域活動の拠点及び文化創造の場として、多様な文化芸術に親しむ機会を提供するとともに、新たな文化芸術の育成及び発信に努めます。	新規	車屋美術館
小川家住宅の活用	市民の郷土文化への理解を深めるとともに、文化芸術への関心を高めるために、小川家住宅を活用した展示事業の充実を図ります。	新規	車屋美術館

### 具体的施策3 文化芸術活動のための公共施設の活用

#### ■実施事業

事業名	事業内容	区分	担当課
公民館の開放	公民館を開放し、文化芸術活動の発表・練習の場として活用します。	充実	生涯学習課